

専門委員会における交通 DX 専門委員会の立ち上げについて

1 現状・課題

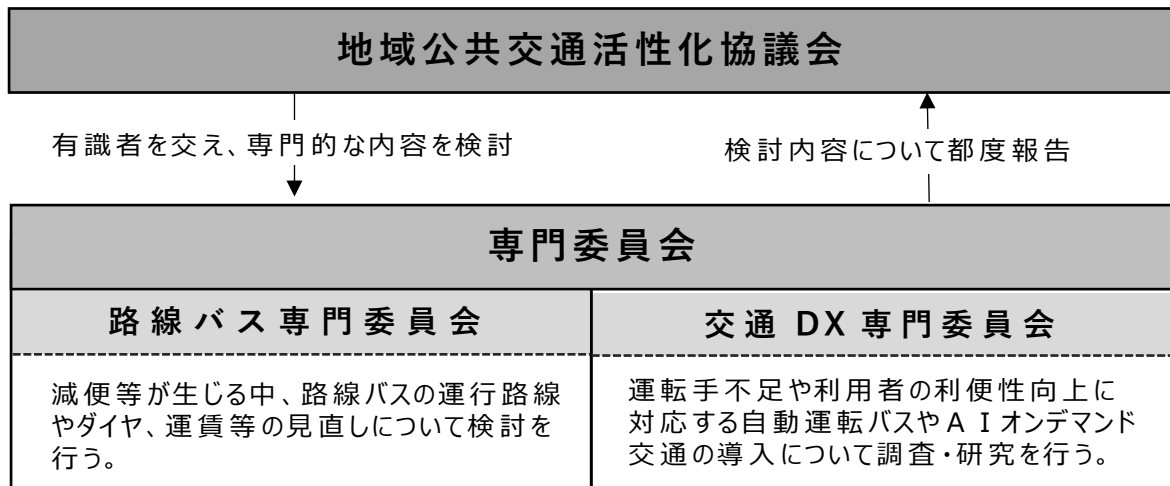
市内路線バス事業は、慢性的に続いてきた運転手不足が深刻化しており、市内主要バス事業者における運転手の年齢構成により、運転手不足が加速することが推定されること、また、運転手の募集を行っても応募がほとんどない状況にあることから、公共交通を維持・確保するための運転手を確保することが難しい。

2 目的

運転手不足の中にあっても、持続可能な公共交通を維持・確保するため、自動運転バスや AI オンデマンド交通などの新たな交通システムについて、市民や有識者を交えて、将来的な導入に向けた調査・研究を行う。

3 位置付け

専門委員会では、路線バスの路線やダイヤ等の見直しを検討する路線バス委員会を設置したところであるが、新たに自動運転や AI オンデマンド交通について協議する委員会を設け、「路線バス専門委員会」と「交通 DX 専門委員会」の 2 委員会制とする。各委員会で検討した内容については、フィードバックを行う。



4 交通 DX 専門委員会メンバー

アドバイザー、交通事業者、北海道運輸局、市民等